

一般質問

ソニアは大丈夫か？

平成19年9月定例会は、11日に招集され、会期を13日までの3日間とし、11日、諸般の報告（議長、町長、教育長）、議案の上程、提案理由の説明。12日、一般質問。13日、議案の審議、討論・採決を行い報告2件、議案25件を原案どおり可決。意見書2件、決議1件を可決、閉会した。



(株)ソニアの赤字はいつまで続く

答 頑張っている

ソニアの赤字問題

①

問 岡田良成

(株)ソニアだが、これ以上赤字が出れば将来、町の財政にも影響すると、昨年質問したが、町長は職員の経験不足で加工技術が伴わなかった。製品コストの問題、巨額な減価償却もあり、次期には鋭意努力すると答えた。今回の決算書では、売上高三億六三〇〇万円。昨年より一億四〇〇〇万円程伸びているにも関わらず、赤字は一億一五〇〇万円。なぜ巨額な赤字が毎年続くのか。

答 町長

ソニアの運営等は、高知工科大の指導を受けて現在行っており、大きな原因としては二直にある。新しい従業員の養成期間は六カ月ほどかかる。施設整備に五〇〇〇万円程償却費が含まれており、生産性の低さと、技術の習得に時間がかかり、大きな損失計上をせざるを得なかった。製品単価の低さと原木の単価と差し引いて計算をしても、収支のバランスがとれなかった。林業界全体が非常に厳しい状況にあるが、正常な運営ができるよう努力し、今後は良い結果が報告できるように頑張っている。

問 岡田

利益を追求する会社が利益が上がらない。昨年よりも二〇〇万円の赤字が増えており、経営状況に問題があるのではないかと。木材業界に精通した者を投入し根本的な対策を考えなければ、同じような結果がでるのではないかと。今回、長期借入れ五八〇〇万円、現金預金高、一億一〇〇〇万円。来年も赤字決算の場合は当然、来年以降は運営できない。原因を追及し、木材産業に精通した会社と合併するなり、対策を講じなければ、町長が昨年答弁したように、取締役が責任を考えなければいけない時期がくるのではないかと。議会にも責任があるので、前向きな答弁を。



平成5年12月、資本金15億6,750万円(内、仁淀川町10億3,500万円出資)で創業開始した。第3セクター(株)ソニア(佐川町)

答
町長

経営の内容は、売上を伸ばし経費を節減し、利益を生み出す。これが企業のあり方だと思ふ。常に取締役会の中でも検討し、工科大、県の指導も受け経営改善に取り組んでいる。

十四期施設整備は、乾燥機の増設とバイオマスエネルギーで重油代は約十分の一に減少した。

組織の面で批判があることは十分承知している。技術的に未熟な面もあり、加工、販売者をどう育てていくかが、大きなポイントと思ふ。

問
岡田

監査は、出納、決算書だけでなく、指摘をする所は指摘をしないと監査委員にも責任があると思ふ。

答
副町長

林産部門は効率的な生産体制の構築と、原木の安定供給に向けて適正な

事業地を確保し、製材部門は歩止まりの改善、生産コストの縮減や品質の確保、販売力の強化をし健全な事業確保に努めるよう、監査報告した。

問
岡田

木材産業に精通した大きな会社と合併する考えはないか。

答
町長

佐川、越知町の首長と協議し、あるべき姿を模索していきたい。今年が正念場と思っている。



企業秘密で

答えられないとは？

答 法的に答える義務はない

ソニアの赤字問題

②

問

若藤敏久

創業以来十四年、(株)ソニアの経営陣は、通年の赤字体質で、危機的状況から脱却する気構えも見せず、経営改善に取り組むこともなく問題を先送りした、昨期、今期と一億円を超す莫大な赤字を出した。

計画の設備投資が完了した現在、ソニア経営陣は最新の高性能機械を充分に活用し、起死回生の精神で経営改善に取り組むべきだ。
出資比率65・59%を持つ仁淀川町の議員として、経営改善計画書の策定を要求する。

答

町長

取締役がただ漫然としていた訳ではない。現在林業界は危機的状況にあり流動的だ。指摘事項に対し真摯に受け止め対策を考える。

現状を脱却するため、早期に経営改善計画書を策定し、次の議会には提出する。

問

若藤

夕張市をはじめ財政難に陥る多くの自治体は、第三セクターの破綻が要因となっている。町が負う責任は出資の範囲内であることを対外的に公表すべきではないか。

十四期決算は、貸借対照表の流動資産の中の短期貸付金七八〇万円、昨期と同額だが不良債権で

はないか。徴収ができない理由と貸付先、貸付理由、貸付期間を問う。

損益計算書の売上高三億六三四〇万円だが、林産事業と加工事業の仕分けができていないのはなぜか。

長期借入金五八一〇万円の保証人は、

経費削減が叫ばれる現在、職員給料と関係のない一般管理費が九三〇万円増額の理由と、前期より取締役が二人増え、民間のノウハウを有する人材の登用で赤字からの脱却と考えるが、指導を得た効果を問う。

答

町長

短期貸付金の期間は一年、貸付先や貸付理由は秘密保持上言えないが、決して不良貸付ではない。

経営内容は取締役会の了解が必要で、私の一存で言うことはできない。取締役は無報酬で、工

科大に経営委託をしているため増員となっている。長期借入金の保証人はいない。

ソニアは第三セクターではあるが法人であり、企業の秘密事項がある。



選別機

問

若藤

「企業秘密で答えられない」とのことだが適切な答弁が疑わしい。
平成十一年以降回数大臣より「第三セクターに関する指針について」厳しい通達が来ているはずだ。

一、地方公共団体は第三セクターの経営状況を点検評価、改善し指導監督の必要がある。
一、費用対効果を分析し議会等へ事前に説明。
一、地域住民への積極的広報
一、知事は設立許可をした観点から適切な指導、監督をすること。

特にソニアのように単年度黒字が無く、累積欠損金がある会社は、「深刻な経営難状況であり事業の存続を含めた検討が必要」となっている。
すべての紹介はできないが、企業秘密で他の取締役の了解が必要というのは理由にならない。



皮はぎ機

答

町長

ソニアは独立した法人で、経営陣が責任を持ち業務運営等を行い、商法等に定められた制度で、適切な意思決定及び経営などのチェックがされるべきであり、他に自治体、監査委員、議会のチェック、情報開示等の通達が出ている。

自治法では、経営状況を説明する書類を議会に提出しなければならないとなっており。
会社は株主に対し計算書類、貸借対照表、損益計算書等の情報開示をしなければならないが、住民には法的な義務はなく、経営陣が判断することとなっている。

自治体を持つ情報の開示は、経営状況を説明する書類は広く開示、その他の財務に関する書類は、公表を前提としていないため、慎重に検討しなければならないとなっている。
自治体はチェックをしなさいとの厳しい通達はきている。



製材

ソニアは昨年(18年度)に引き続き今期も一億一五〇〇万円の巨額の赤字を出した。昨年の答弁では乾燥設備を増設し、コスト削減のため二交代制で増産をするから好転すると聞いたが、好転どころか巨額の赤字だ。

ソニア本来の事業である素材生産と作業道開設は大変良好な成績を上げている。山の利益に製材が食い込み大赤字だ。山と製材の経理は区別すべきだ。

副町長が監査をしているが、監査報告に営業に関する何の指摘もないが。



乾燥機

問

大原儀郎

ソニアの赤字問題

③



二交代制で

好転すると言っていたが

答 来期は・・・

答

町長

高知工科大学の武藤教授の指導のもと経営改善に取り組み、乾燥機の増設、その他の設備の拡充、二交代制による増産と努力してきた。

今期は取り組んで日も浅く思いどおりに行かなかった。諸条件も整ってきたので、見通しもたつと思う。

答

副町長

常に指摘している

監査役として取締役会にも出席し、機会あるごとに健全運営に向けて努力するよう指摘をしている。

問

大原

木質バイオマス、ガス化発電及び木質ペレット実用化実験事業の、見通しはどうか。二年目だが、後三年の実用化実験と、その後の対策を聞く。

木質バイオマスは順調か？

答 12月に中間評価！

答

町長

ガス化発電及びペレット製造設備が五月に竣工し火入れ式を行った。

この事業は未利用林地残材の効率的なエネルギー生産とその利用がテーマとなつている。本年度は主施設の稼働調整試験とバイオマス原料の収集運搬採算性に関する試験が主な内容だ。

現在採算性の目安となる1t当たり六千円がやつと見えてきた。また、ガス化発電は、ガス化炉の調整に手間取り若干遅れているが、十一月には

100%に近い稼働率となる見通しと、カワサキプラントシステムズから聞いている。

ペレット製造は、八月より製造試験を行い、町内の湖水園、ゆの森、佐川町の町民プールでペレットボイラーが稼働中。

池川地区の農業用ハウスはエネルギーが必要になりしだいペレットボイラーが稼働できる予定。

本年十二月にこれまでの実験結果や稼働成績の中間評価がNEDOによって行われ、この評価にパスすることが今後の事業の継続にかかっている。



ペレットボイラーを使用している湖水園 (高瀬)

問 大原

昨今、残留農薬が人体に大変な悪影響を与え、大きな社会問題となっている。

町には休耕地があるにもかかわらず野菜やその他の農産物が、よそから

有機無農薬農業を 全町に奨励しては 広がることを期待している

答

答

池川地域振興課長

日浦地区で、実証試験栽培が進んでいる。非常に簡単な農法で、四回の農作業でできるという指導のもとに行っている。作業が順調に行き、年末に収穫をし、これならできると認識が定着すれば、町も応援する方法があると思う。協議会と話し合い前向きに進めたい。

答

町長

入っている。

地産地消が言われる時、町は有機無農薬栽培を奨励し、基幹産業としてはどうか。

本町も439号沿線五カ町村で有機協議会を立ち上げ、その実証圃場を作り有機の学校塾頭、山下一穂氏の指導で、取り組み始めた。実証栽培に約40人参加して関心も高まりつつある。成功すれば、町内全域に広がると期待している。



本山・土佐・大川・いの・仁淀川の5カ町村構成の「439有機協議会」は本年より実証栽培に取り組んだ（日浦）

スクールバス
その後 事故

問

大原

昨年三月の仁淀中スクールバス事故に関し町民の感心も高まり、有志で運転手支援の運動もやっているようだ。私も協力したいと思っているが、現状はどうなっているか。

答

教育長

六月七日の判決を受けて、運転手は控訴し高松高裁での裁判になる。第一回公判は十月四日に決定との報告を受け、動向に注目している。

民事事件は七月十日に議員協議会で報告したとおりだが、運転手の意向も尊重し刑事事件裁判の進行に配慮し、民事裁判を進めるよう担当の弁護士と打合せを行っている。



無線が交信できない
地域があるか

答 機器の更新やアンテナの設置で

問

野村安夫

町民全体の情報を常に把握すること、感度の悪い地域の無線のチェック体制の強化はどのようにするか。

答

池川住民課長

災害時の障害者、高齢者、妊婦、乳幼児などの災害弱者の援助も自主防災組織の役割としており、消防団と共に把握に努め住民全体の安全を確保したい。

無線が交信できない地域は将来デジタル化が予定され、機器の更新や新たなアンテナの設置を検討し、緊急時の情報伝達に役立てたい。

問

野村



防災訓練 (9月2日 池川地区)

大災害が発生すると、地域が孤立して無線もすべての物や人が、パニック状態になるので早急に配慮を。

答

池川住民課長

デジタル化の勉強も含め、調査、交信方法を指導していきたい。

ゴミステーションを増やせ

答 簡単にはいかない

問

野村

身体障害者、高齢者、弱者が困っている、ゴミ収集場所の追加はできないか。

答

池川健康福祉課長

収集したゴミを処理場へ持ち込む時間的制約があり、収集車両が通行可能であれば、収集場所を

追加できるという状況ではない。

問

野村

地理的条件やその他の条件を考慮して今一度考え直してもらいたい。

答

池川健康福祉課長

今後全体のローテーションの中で検討したい。



ゴミステーション (土居)



教育は国が一方的に 押し付けるものではない

答 地域に目を向けた教育を行う



休み時間。サッカーが人気です（池小）

問

福原克彦

教育改革関連三法が六月に成立し、国による地方の教育行政への関与の強化は地方分権の流れと逆行する。

土佐の教育改革は「県民の参加と協働」で教育を作ることに力点を置いているが、

①改正学校教育法は、義務教育の目標に「公共

の精神」「我が国と郷土を愛する態度を養う」と明記。

②改正地方教育行政法は、教育委員会に対する文部科学相の是正指示、要求権などを盛り込み。

③改正教育免許法及び教育公務員特例法は、10年ごとに免許更新制導入と30時間以上の更新講習の受講を義務付けられた。教育とは国が一方的に

問

福原

ある教育者は「小中学

③は学校を取り巻く課題は複雑化、多様化しており、課題の変化に対応する教員として必要な資質、能力が保持できるよう、定期的な知識、技能の刷新を図ることが不可欠であると思う。

②は現行の教育委員会制度の基本枠組みの堅持を前提に、その存在意義を再確認し、機能の充実と職務遂行能力の強化を多面的に図るものと受け止めている。

①は法律の明記により、一層明確な目標を持つて教育が実施できると期待している。

答

教育長

押し付けるのではなく、家庭を基本にした自立的なものであると思うが、どう受け止めているのか。

この改正は、教育基本法の改正に伴いその趣旨を教育により具現化するためのもので、

答

教育長

土佐の教育改革が10年

校教育で一番大切なのは、大人、教育者が子ども心に火を灯すことと語っていたが、関係している父兄、地域住民が望む教育改革は、いじめ、学力低下など子どもが、今まさに直面している問題の改善であると思うが、考えを聞く。



授業風景（池中）

間活動が続いた中で、本町の教育をどうしたいかと思ひ、教職員へ地域に目を向けた教育を進めてほしく、町内にある自然や文化や人を大いに利用し、この地域に生まれて良かったと思える教育を各学校で行っている。いじめは今日起きるかわからない、未然に防げるように教育研究所を中心に社会福祉関係等とも連携し、対応している。